

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	児童発達支援 はぴじゅに首里城西校			
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 28日(金)		～	令和 7年 3月 14日(金)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 25日(金)		～	令和 7年 3月 3日(月)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所内は、定員に対して広く部屋数が多い。 (集団指導室 2部屋、個別指導室4部屋) ・各部屋に職員1名以上配置しており、支援や見守りができる。	・ 集団活動中は、利用児童の発達段階に合わせた活動やグループを分けて各指導室を使っている。 ・ 学習支援や集団支援等で部屋を使い分けて、環境を作りを行っている。	・ 活動に合った環境作りや部屋の使い方を検討し、児童にとってより快適な環境を目指す。
2	・ 放課後等デイサービスも併設して多機能型として、営業しており異年齢との交流が多い。	・ 集団活動や外活動では、異年齢の組み合わせでペアを作り、交通安全やSSTを行っている。	・ 集団活動や外活動等で、異年齢との交流し、様々な経験ができるような取り組みを検討してく。 ・ 活動中の様子を保護者と共有できるようお便りや連絡等の取り組みを図る。
3	・ HPやSNS等による活動の様子や活動概要を発信している。 また、イベント開催の際チラシの作成や発信を行っている。	・ ブログの更新やSNS等の投稿は、専門業者と協力しながら個人情報厳守し行っている。 ・ ブログやSNS等の投稿に使う写真や投稿内容は、専門業者と協力して見やすさわかりやすさの助言をいただき取り組んでいる。	・ 投稿頻度を増やすやフォローアカウント数を増やすなど、次年度に向けて目標を検討して、HPやSNS等で活動の様子や内容を発信していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 父母の会や保護者会等の開催、保護者同士の交流会の機会。	・ 営業日が平日(祝祭日定休日)のため、日程を組むことが難しく機会を設けることが出来なかった。	・ 保護者のニーズを考慮しながら、今後は保護者を招いた交流会も検討する。。
2	・ 第三者による外部評価、評価結果を業務改善に繋げる。	・ 開所してまだ一年未満の事業所なので、第三者機関との繋がりが弱い為、第三者機関による外部評価の機会を設けていなかった。	・ 第三者機関の繋がりを強化し、外部関係者や協力機関に事業所評価をお願いする。
3	・ 地域の児童発達支援センターとの連携、スーパーバイザーによる助言や研修等の機会。	・ 開所してまだ一年未満の事業所なので、児童発達支援センターやスーパーバイザーとの繋がりが弱い為、助言や研修等の機会を設けていなかった。	・ 児童発達支援センターやスーパーバイザーと事業所の繋がりを強め、研修や助言等の機会を設け職員の支援技術向上を図る。